

警察庁によると、令和4年の特殊詐欺の認知件数は1万7520件と前年比で3022件増加しました。被害額は361億4000万円で前年比79億4000万円増加し、被害額は8年ぶりに増加に転じま

特殊詐欺の発生状況

した（暫定値）。被害は大都市圏に集中しており、東京、神奈川、大阪、千葉、埼玉、兵庫、愛知の順となっています。手口は還付金詐欺、オレオレ詐欺、キャッシュ

カード詐欺盗、架空料金請求詐欺、預貯金詐欺の順で、被害者の86.6%が65歳以上の高齢者（法人被害を除く）です。また、欺罔^{ぎもう}手段に用いられた最初のツールは、電

話によるものが9割近くを占めています。

特殊詐欺の高齢者被害を防ぐには、犯人からの電話には出ないように、常に留守番電話に設定することが大切です。

防犯一口メモ